

哲學研究

第三十四卷 第一冊

第三百九十四號

昭和二十五年八月一日發行

宗教的實存の實存的課題(完)……………石津照顯

—キエルケゴール諸著作の位置と意義—

思辨論理の可能性に就いて(承前)……………山本清幸

鎌倉期浄土教の時間論的展開……………河野憲善

—一遍の當體の念佛について—

書評—Northrop, *The Meeting of East and West*
と Althaus, *Die christliche Wahrheit* と (57)
(有賀鐵太郎)

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために次の事業を行ふ
- (一) 毎月一回研究會を開く
- (二) 毎年公開講演會を開く
- (三) 毎月一回「哲學研究」を發行する
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく、委員は京都大學哲學科教官及び委員會において推薦した者に委嘱する
- 一、本會は會員組織とし、會員には資格の制限を設けない、學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することもできる
- 一、會員は會費として年五四〇圓、又は半年二七〇圓を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け、會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、本會規約の改正變更は委員會の決議による

京都哲學會役員

委員

有賀鐵太郎	白井二尙	上野照夫	重澤俊郎	下程勇吉	島芳夫	關原太郎	高田三郎	武内義範	田中美知太郎	長尾雅人	野田又夫	松尾義海	三村勉	矢田部達郎	山内得立	井島勉
-------	------	------	------	------	-----	------	------	------	--------	------	------	------	-----	-------	------	-----

の對し、前者は「原啓示」(Ur-Offenbarung)なる語を提唱する。この原啓示の問題は既に「教理學要論」(初版、前篇一九二九年、後篇三二年)のうちに論ぜられてゐるが、今回の著書においては六十八頁を費して詳細に彼の立場を展開してゐる。もとより彼もイエス・キリストにおける救済啓示(Heiligs Offenbarung)を承認することにおいて人後に落ちる者ではない。けれども救済啓示は原啓示を前提とするものであり、前者は後者なしには意味をなさないとするのである。その理由として三つの點が擧げられる。一、キリストの福音は罪の赦しの福音であるが、それは罪責Schuldあるものとしての人間に告げられる。神の意志及び命令が豫め知らされてゐなければ、それに對して罪責を負ふことも出来ない筈である。二、不信が罪であるがために、人間は豫め神について知つてゐなければならぬ。彼が既に幾分でも神の聲を聞いて居ればこそ、キリストの前に出たとき之を神の言として認識することを得るのであり、その可能性が前提されてこそ、それをさう認めようとするに不信が罪と呼ばれ得る。三、福音は問への答、期待の實現である。それがイスマエルのみならず、全人類の待望を満たすものであるが故に眞に福音と呼ばれるに適しいのである。しかし此の事は原啓示を前提としなければ考へられない。かくて諸宗教の歴史は此の原啓示の概念のうちに取入れられ、それらに於いて興へられる眞理が如何に不完全なものであるにせよ、それは原啓示に屬するものとして救済啓示によつて完成されるべきものなのである(Ss. 50-61)。この原啓示をあくまでも否認しようとするバル

トの態度をアルトハウスは「甚だ頑固」(tharrens hartnäckig)と呼んでゐる(S. 68)。バルトの議論は全く先驗主義的・抽象的——ein aprioristisch-bisarrkt (S. 70)とも評しつゝ、バルトが之に對して何う答へたか、私はまだ知らない。恐らく十數年前のブルンナーへの「ナイン」を決定的なものとして、改めて答へる必要なしとしてゐるのではないだらうか。

執 筆 者 紹 介

石 津 照 暉

東北大學文學部(宗敎學)教授
文學博士

山 本 清 幸

九州大學敎養部(哲學)助教

河 野 憲 善

鳥根大學敎育學部(哲學)助教

有 賀 鐵 太 郎

京都大學文學部(基督敎學)教授
文學博士

事であると思ふ。

六月十七日(土)午後一時

於 京大文學部第二演習室

本學人文科學研究所助教授坂田吉雄氏が「明治維新史と階級史觀」と題して研究發表をされ、その要旨は次の如きものであつた。

階級闘争の立場から明治維新を説く歴史觀にも種々あり、その契機を農民、下級武士、郷士、マニユフアクチャーブルジョアジー等に認める立場が存するが、かゝる階級史觀からしては變革は説明しつくされぬ。明治維新を説く時、對外關係は輕視されてはならぬ。勿論經濟的發展をも認めぬわけではないが、政治的機構の變革といふ上からの政策により經濟的發展が要求されたものであり、身分制の打破が中心をなしてゐる。明治維新の近代性は官僚の出現にあり、この出現は經濟的發展を條件とはするが經濟的發展の結果ではない。明治維新は階級闘争による封建制の打破ではなく、寧ろ身分制の崩壞が中心をなし、従つて階級史觀からしては説明しつくす事は出来ない。

(肥 後)

前 號 目 次

宗教的實存の實存的課題……………	石津 照靈
—キェルケゴール諸著作の位置と意義—	
アリストテレス存在論の基礎構造について(完)……………	岡野留次郎
思辨論理の可能性に就いて(承前)……………	山本 清幸

會 告

- 一、本會へ入會希望の方は京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會係宛に規定の會費をお歸込下さい
「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」
- 一、前金切れの場合は帶封に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい
- 一、會員の轉居入退會等(編集事務以外は一切)の事務は弘文堂内京都哲學會係へ御通知下さい
- 一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等はすべて本會宛にお送り下さい

京都大學
文學部内 京都哲學會

註 文 規 定

- 一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下さい
- 一、本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にてお送り下さい
- 一、特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券八圓をお送り下さい

昭和二十五年七月廿五日印刷
昭和二十五年八月一日發行

編 集 人

京 都 哲 學 會
京都大學文學部内

右代表者

三 村 勉

發 行 人

久 保 井 理 津 男
東京都千代田神田駿河臺四ノ四

印 刷 人

鈴 鹿 幸 保
京都市田中西浦町四〇

印 刷 所

弘 文 堂 印 刷 部
京都市田中西浦町四〇

發 行 所

株 式 會 社

弘 文 堂

東京都千代田神田駿河臺四ノ四

定 價		冊 數		定 價		郵 稅	
一冊	冊	四十五圓	冊	金三圓	一冊	冊	金三圓
六冊(前金)	冊	二百七十圓	冊	金十八圓	六冊(前金)	冊	金十八圓
三冊(前金)	冊	五百四十圓	冊	金三十六圓	三冊(前金)	冊	金三十六圓

(誌代の變更による會費の過不足は半年又は一年毎に精算いたします)

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XXXIV

August, 1950

No. 1

- Did Kierkegaard Realize his 'Human Religious Existence'?—Notes on the Evaluation of his Writings*Teruji Ishizu
- On the Possibility of Speculative Logic*.....Kiyoyuki Yamamoto
- The Development of the Conception of Time in the Jodo-Buddhism of the Kamakura Period: a Study of Ippen's Idea of Nembutsu in Existence and Eternity* ...Kenzen Kono
- Book Reviews: Northrop, The Meeting of East and West; Althaus, Die christliche Wahrheit*.....Tetsutaro Ariga

Published Monthly

By

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

哲
學
研
究
第
三
百
九
十
四
號

定
價
金
幣
十
五
圓

大正五年四月六日
昭和二十五年七月廿五日印刷
（毎月一日發行）
三陸郵便物認可
昭和二十五年八月一日發行